

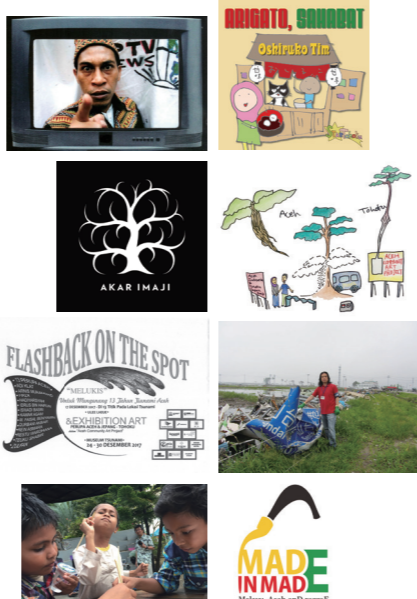


# 1 アチェ津波博物館

オープニング: 12/17 (No.16,17) / 展示: 12/17-26(No.01-16), 12/24-30 (No.18)

- 1 津波ポスト
- 2 ケムの東北レポート
- 3 東北での図工の取り組み
- 4 アチェと東北のビデオ対話
- 5 おしるこけし
- 6 とがびプロジェクト
- 7 Arigato, Sahabat
- 8 Darussaramku
- 9 ノラの夢のレストラン
- 10 アチェで見つけた日本軍の碑
- 11 10年後の宮戸とアチェ
- 12 Dec 26, 2004
- 13 俺の人生
- 14 エアコン LOVE
- 15 3.11 メモリアル・プロジェクト
- 16 アチェと東北、200 キロサイクリング
- 17 歓待
- 18 Flashback on the spot

- ウィルダハティ/ポスト
- カマルツラー・ガニ/本
- 宮崎敏明、宮野森小学校/レポート
- 四倉小、第31小、渡辺裕一/ビデオ
- 妄想エンジン全開娘/こけし
- 中平千尋・紀子/レポート
- おしるこチーム/ミュージックビデオ
- 第31小、カマルツラー・ガニ/ミュージックビデオ
- ノラ・ナディア/架空のレストラン
- ネディアル・ジュリアディ/レポート
- 宮戸小、ランピラ小、KS/絵画
- Isnan & Mukmal/ミュージックビデオ
- TATSUKO88 feat. Cinta/ミュージックビデオ
- 石巻日日こども新聞/ミュージックビデオ
- 村上タカシ@MMIX Lab/インスタレーション
- 門脇篤/サイクリング、インスタレーション
- MADE IN MADE/パフォーマンス
- アチェの13人の芸術家/絵画



# 2 PLTD Apung ( プングブランチュ )

オープニング: 12/20 (No.20,21)  
展示: 12/ 20-26(No.19)

- 19 被災地から未来へ レストゥ・ワルドゥハナ/インスタレーション
- 20 ブツツンTV コミュニタス・ティカール・パンダン /パフォーマンス
- 21 ふね屋台 ワルン・カパル/屋台

# 3 Kapal KPLP ( プングブランチュ )

Workshop & 展示: 12/ 20-26 (No.22)  
屋台: 12/23-24(No.21)

- 21 ふね屋台 ワルン・カパル/屋台
- 22 犠牲になった人を 思い出ながら人形を彫る パルコキノシタ/ワークショップ、インスタレーション

# 4 バンダアチェ第31小学校

植樹式: 12/ 22 (No.23)

- 23 桜 3.11 学校プロジェクト アートアンドパブリック協会

# 5 奇跡の一本松(ウレレ)

Workshop & 展示: 12/ 16-26 (No.24)

- 24 2つの奇跡の松 村上愛佳

# 6 屋根の上の船(ランプロ)

屋台: 12/ 21 (No.21)

- 21 ふね屋台 チームワルンカパル/屋台

# 7 ムラボー〜バンダアチェ(西海岸)

サイクリング: 12/15-17 (No.16)/ ゴール: 12/17

- 16 アチェと東北、200 キロサイクリング 門脇篤

# 0 その他 エリア

- 18 Flashback on the spot アチェの13人のアーティスト(スタート:12/17)
- 25 ラピラピアアートツアー チームラピラピと中川真規子(12/23-24)
- 26 パン・ラスリィの見解 ACEH TV/TV 番組
- 27 サイレント・ジャミング アカルイメジ/グラフィティ



## スケジュール

12月	津波博物館	プングブランチュ	その他エリア
15			
16	200キロサイクリング@ムラボー〜バンダアチェ		Workshop@ウレレ
17	オープニング@津波博物館		● FLASH BACK ON THE SPOT 開始
18			
19	展示@津波博物館		
20		● オープニング@PLTD Apung	● 展示@ウレレ
21		● 展示@PLTD Apung	● 屋台@ランプロ
22		● Workshop & 展示@Kapal KPLP	● 植樹式@第31小学校
23		● 屋台@Kapal KPLP	
24		● 屋台@Kapal KPLP	
25	● FLASHBACK ON THE SPOT @津波博物館		
26			
30			



「被災地から未来へ」  
Restu Wardhana

# Aceh-Japan Community Art Project 2017

12/17-30, 2017  
インドネシア、アチェ



主催: NPO 法人地球対話ラボ、アチェ・コミュニティアート・コンソーシアム  
 共催 (桜 3.11 学校プロジェクトの共催団体): 桜 3.11 プロジェクト実行委員会、一般社団法人アート・アンド・パブリック協会、一般社団法人 MMIX Lab  
 共催 (Flashback on the spot の共催団体): Banda Aceh city mayor Office, Banda Aceh city house representatives office, Indonesia hotel & restaurant association Banda Aceh office, Indonesia Air Transportation & aviation Association, Hermes hotel Banda Aceh, Country Steak House, Canai Mamak Kuala Lumpur, Incognito  
 助成: 国際交流基金、トヨタ財団、YS 市庭コミュニティ財団  
 後援: 東松島市教育委員会  
 協力: アチェ州政府観光局、バンダアチェ市政府観光局、KSA、TPMT、SD Negeri 31 Banda Aceh、アチェ TV、東松島市立宮野森小学校、宮戸市民センター、ハマヒルガオ Ambassador、いわき市立四倉小学校、ひまわり会 (仙台市あすと長町復興住宅自治会)、NPO 法人コミュニティアート・ふなばし、一般社団法人キッズ・メディア・ステーション、一般社団法人アート・インクルージョン、一般社団法人まちとアート研究所

# アチェ=ジャパン・コミュニティアート・プロジェクト

アチェと日本の東北に関わりのあるアーティストたちが、アチェの被災地ツーリズムの拠点的な施設や震災遺構、あるいはそのコミュニティをテーマに制作を行い、これまで行われてきた通常の被災地ツアーでは参加者が触れることの

できなかった思いを体験しながら被災地を回る「思いに触れるツアー」を生み出したり、日本や東北との交流の中で改めて見つめなおされたアチェの歴史や文化をテーマにした表現やワークショップを生み出したりしていきます。

## 1 アチェ津波博物館

オープニングイベント：12/17  
展示室：12/17-26  
アチェの13人のアーティスト：12/24-30



アチェの「顔」のひとつ、アチェ津波博物館には国内外から多くの来場者が訪れます。スマトラ沖地震の記憶を伝えるとともに、地震と津波のメカニズムについても知ることができます。本プロジェクトでは、展示室にアチェと東北の震災を伝える取り組みや交流の

結果生まれた16の作品を展示します。また、津波13年を記念し、アチェの13人の画家が新たに描きあげた絵画作品の展示が一階の池の周りで行われます。

### 12/17 アチェ津波博物館でのイベント

- TOUR DE MEULABOH: ムラボーからやって来た自転車といっしょに津波博物館へとゴールしよう!
- MADE IN MADE Live: Modern で Traditional な彼らの演奏をお楽しみください!

## 3 Kapal KPLP (ブングブランチュ)

workshop & 展示：12/20-26  
屋台：12/23,24



PLTD Apung からたった3分のところに、この歴史的であるにもかかわらずあまり知られていない場所があります。震災を伝えるために残された2隻の警備艇は、予算不足のために十分な整備をされているとは言えません。バルコキノシタ氏によってこの夏、東北でも行われた木彫りによるワークショップとインスタレーションをこのエリアに展示し、この歴史的な場所を内外に紹介していきます。12月23日と24日には屋台も出ます。

### 12/20-26 Kapal KPLP でのイベント

- バルコキノシタワークショップ：着物を着た日本のアーティストの木彫りワークショップに参加しよう!

## 5 奇跡の一本松(ウレレ)

workshop & 展示：12/16-26



アチェ北部のリゾート地サバンへと出港する港があります。かつては住宅地でしたが、津波がバイトゥラヒームモスク、そして1本の松だけを残して押し流してしまいました。一方、日本の東北にも津波に流されずに1本だけ残った「奇跡の1本松」があります。日本ではとても有名ですが、アチェの松はそれほど知られていません。この取り組みは、アチェにも「奇跡の1本松」があることを知った若い東北出身のアーティストが、松の紹介を行い、それを通じてアチェと東北との交流を促そうというものです。

## 2 PLTD Apung (ブングブランチュ)

屋台：12/20  
展示：12/20-26



スマトラ沖地震の津波により、4キロ沿岸から流されて来たというこの巨大な震災遺構は、津波の威力を我々に伝えると同時に、そこから復興をなしたアチェの人々の力について教えてくれます。ブングブランチュの人々が遺構の管理運営を行っており、国内でもベスト10に入る博物館施設です。

津波のモニュメントを作った Restu 氏がそこに新たな息吹を吹き込むとともに、12月20日にはコミュニティスティカール/バンドンがアチェと東北とを結ぶパフォーマンス「TV eng-ong」の新作を披露します。また、日本の伝統的な料理「お雑煮」をこのプロジェクトのためにあつらえた屋台「ワルンカバル」で楽しめます。

### 12/20 PLTD Apung でのイベント

- TV eng-ong: コミュニタス・ティカール・バンドンのステージをお楽しみに!
- ふね屋台：料理を楽しみながら日本と交流!



TV eng-ong

## 4 バンダアチェ第31小学校(ガンポン・バロ)

upacara penanaman: 22/12



ウレレ海岸に近いこの小学校の校庭には、津波の碑があります。2004年の津波のときには多くの避難者の避難所になりました。碑は震災を忘れないために建てられたものです。日本の小学校と交流を始めており、校庭にジュンパの木を植えます。

### 12/22 バンダアチェ第31小学校でのイベント

- K 桜 3.11 学校プロジェクトの活動：第31小の生徒たちとジュンパを植えて、オリジナルソングを歌い、100個の風船を飛ばします!

## 6 Kapal di atas Rumah (ランプロ)

屋台：12/21



この、屋根の上にあがったランプロ村の漁師の船は、2004年の津波のおり、59人もの人々を救ったといわれています。周辺に同じような船が15隻あったといいますが、他はすべて元に戻されました。生き残った女性たちは支援団体のサポートで魚を使ったビジネスを始め、この地に戻ることができました。12月21日、村の人たちと日本の伝統的な魚を使ったスープ、お雑煮をつくります。料理をしながらお互いの経験を話し合ったり、村を散歩したりする予定です。



# Art & Disaster Tour Map

Aceh-Japan  
2017 Community Art Project

- エスケープビルディング
- ★ FLASHBACK ON THE SPOT



12/23,24 ラビラビアートツアー

- チャーターされた Labi-Labi に乗ってアートと震災遺構をめぐる旅。要予約(予約方法はウェブで!)

ふね屋台

- 12/20 PLTD Apung (ブングブランチュ)
- 12/21 Kapal di atas Rumah (ランプロ)
- 12/23,24 Kapal KPLP (ブングブランチュ)